

長寿の節目を迎えられた皆さま、誠におめでとうございます。

市民の皆さまとともに、心よりお喜び申し上げます。

敬老の日にあたり、多年にわたり須坂市の発展のために
お尽くしくございましたことに対し、深く感謝申し上げます。

今後とも末永いお幸せをお祈り申し上げますとともに、
健やかな毎日を支え、長寿を喜び合えるまちづくりを進めてまいります。

2026年9月吉日
須坂市長 三木正夫

高齢者祝賀訪問事業の変更
(米寿(88歳)の方への祝状などの贈呈の終了)について

日頃、高齢者福祉行政にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
標記の件につきましては、次のとおり実施してまいりますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。

1 これまでの事業内容

毎年「敬老の日」にあわせて、米寿(88歳)・百歳・男女最高齢の方を対象に、長寿をお祝いする高齢者祝賀訪問を実施しており、米寿の方へは、対象となる皆さまに意向を確認したうえで、地域の民生児童委員に依頼し、各ご家庭を訪問して祝状および祝品をお届けしてまいりました。

2 変更の内容

2025年度をもって、米寿(88歳)の方への祝状などの贈呈を終了し、百歳および男女最高齢の方への祝賀訪問は、継続いたします。

3 変更の理由

高齢化の進展に伴い、米寿(88歳)を迎えられる方が年々増加しており、2027年には米寿祝賀訪問の対象者が400人を超える見込みで、2040年には85歳以上の高齢者人口が概ね4,100人に達すると推計されています。

市の高齢者施策推進協議会からは、「現在の高齢社会において88歳を迎えることは珍しいことではなくなっており、米寿の祝賀訪問については終了も含めた見直しの検討が必要ではないか」とのご意見があり、市民の皆さまからも、住宅事情により「祝状を飾る場所がない」といったお声も寄せられておりました。

こうした状況に加え、民生児童委員協議会地区会長会において、訪問時の高齢者の皆さまのご様子や区の行事の現状についてお聞きし、ご意見をいただきながら検討を重ねた結果、2025年度をもって米寿(88歳)の方への祝状などの贈呈を終了することといたしました。

なお、区等で行う高齢者祝賀行事を制限するものではありません。

これまで、本事業にご協力いただきましたことに感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。